

第3回御園小学校と名城小学校の統合による新しい学校づくり懇談会

令和4年7月29日（金）

於：名城小学校会議室

1 校名について

2 その他

○次回開催 第4回 令和4年 月 日（ ）

1 校名について

(1) 募集期間

令和4年6月1日（水）から6月30日（木）まで（30日間）

(2) 応募件数

271件（児童106件、保護者94件、学区住民49件、教職員22件）

(3) 応募結果（上位10件）

順位	校 名 (ふりがな)	応募 件数	主な理由
1	丸の内 (まるのうち)	117	・ 小学校の所在が丸の内であるため ・ 小中のつながりを感じられるから ・ 覚えやすいから（小1でも書ける） ・ 統合前の「御園小学校」と「名城小学校」も江戸時代に栄えた城や城下町に想いを寄せた校名。新しい校名も同じ想いに合わせることで、両校の伝統、卒業生や地域の想いも受け継がれる
2	御城 (おしろ・みしろ)	13	・ 御園小学校と名城小学校から一文字とった ・ 両校の融和の象徴となる校名に、という願いを込めて ・ 歴史ある名古屋城とともに、時代を越えて親しまれる学校になってほしい
3	名古屋城 (なごやじょう)	9	・ 名古屋城の近くに学校があり誰しものが覚えやすく忘れないから ・ 名城小学校も御園小学校も、1954年の分校化される前は同じ起源として1872年に開学された。同じ起源をもち、同じ名古屋人として地域住民の将来を担う大切な場所になりますように
4	久屋 (ひさや)	8	・ 久屋と呼ばれる地域に位置しているため ・ 末永く繁栄するように名付けられた地名で、現在は名古屋を代表する道路の名称として地域だけでなく名古屋全体でひろく親しまれている。また、統合校は久屋大通の起点となる地域に位置している。小学校は学校教育のスタート地点であり、そこでの学びを基礎として、ひとりひとりが人生を豊かに反映させていけるような学び舎になるように

順位	校 名 (ふりがな)	応募 件数	主な理由
5	城元 (しろもと)	7	・名古屋の中心的シンボルの名古屋城の城と名古屋城のお膝元の元
5	第一 (だいいち)	7	・名城小学校と御園小学校とは元々一つの学校で、その歴史は、明治4年に名古屋市で最初に作られた「第一義校」まで遡る（他の義校は明治5年以降に創設）。名古屋市内で最も長い歴史を誇る「第一義校」の「第一」と、数ある学校の中で「第一番の教育」が行われる学校であってほしいという願いを込めて
5	本丸 (ほんまる)	7	・名古屋城の本丸が子ども達の成長を見守ってくれると感じられることから ・新しい小学校も名古屋市の中心で誇れる学校になってほしい
8	金鯢 (きんしゃち)	6	・学区の一番の代名詞は名古屋城なので、名古屋城のシンボルである「金鯢」を名前にすることで、他の学区の方々にも学区らしさが伝わる ・子どもたちが金鯢のように輝ける学校になって欲しい。伝統有る2校が統合後も名古屋を代表する小学校になって欲しい
8	城下町 (じょうかまち)	6	・名古屋城に近いから ・名古屋城の門からまっすぐ南へ続いている本町通は御園と名城学区の境目にもなっていたが、もともと両学区とも碁盤割の町に出来た城下町なので
10	外堀 (そとぼり)	4	・学校が外堀通り沿いにあるので